

いのちとくらしをまもる
防災減災



令和7年3月19日
地震火山部

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの計画作業に伴う 緊急地震速報等への影響について

3月24日から26日にかけて、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの計画作業に伴い、同システムの観測点周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より最大で12秒程度遅くなる可能性があります。

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの計画作業に伴い、令和7年3月24日（月）から26日（水）にかけて、同システムの観測データが停止します（別紙1参照）。

システムを停止している間は、同システムの地震及び津波の観測データを監視に利用できなくなることから、同システムの観測点周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より最大で12秒程度遅くなる（別紙2参照）他、津波観測情報に海底津波計のデータを使用できなくなります。

なお、津波警報等（第1報）や地震情報の発表までにかかる時間及びその内容に影響はありません。

問合せ先：（東南海ケーブル式常時海底地震観測システムについて）

地震火山部地震火山技術・調査課 担当 長谷部、平野

電話 03-6758-3900（内線 5246、5287）

（緊急地震速報について）

地震火山部地震火山技術・調査課 担当 森脇

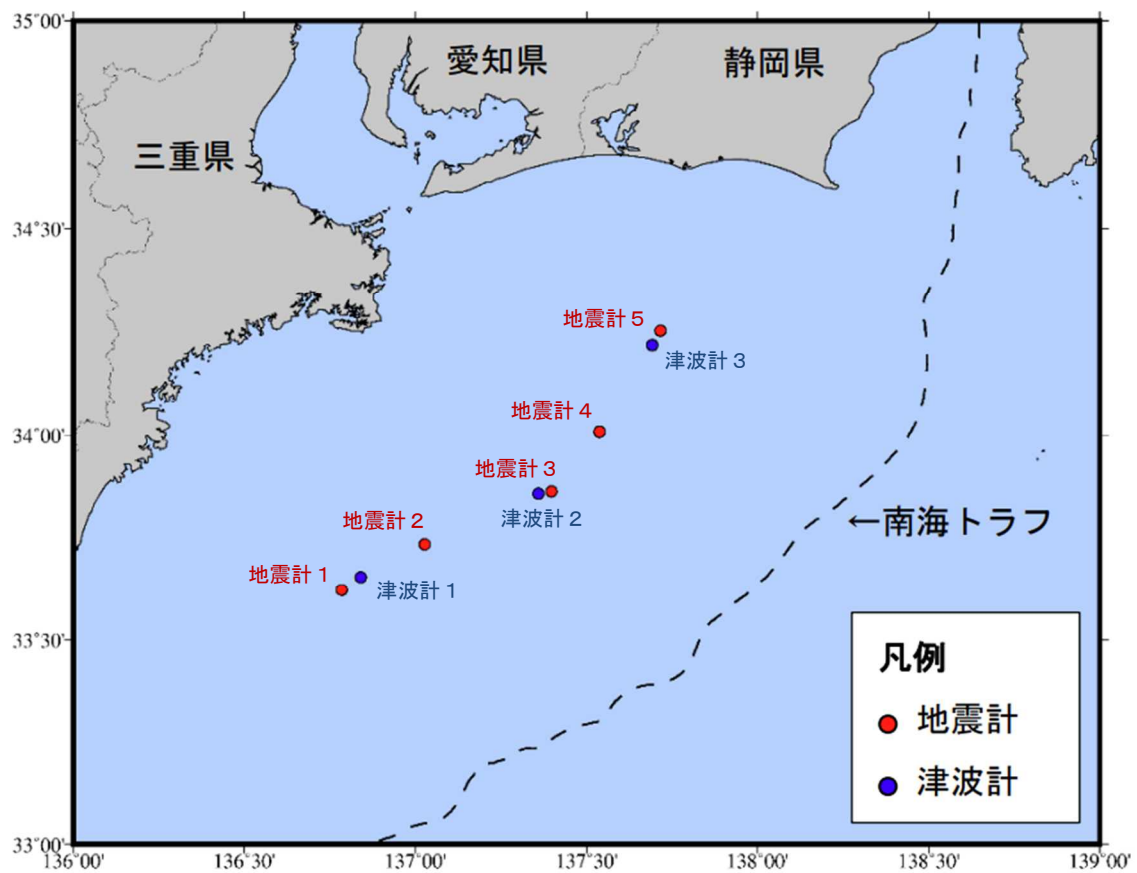
電話 03-6758-3900（内線 5252）

（津波情報について）

地震火山部地震津波監視課 担当 牛田、桑山

電話 03-6758-3900（内線 5141、5142）

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの地震計及び津波計の位置

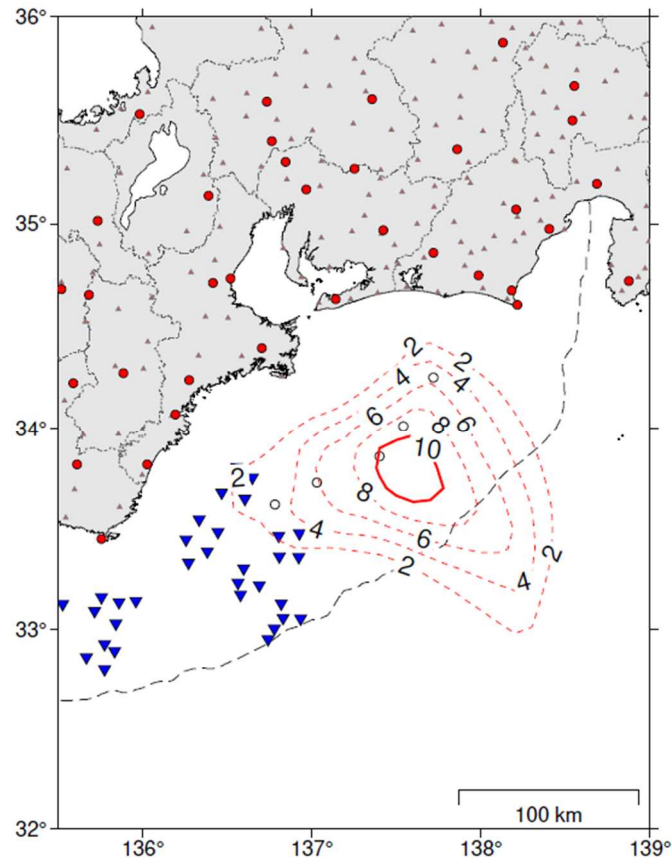


計画作業により、以下の期間中、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの観測データの利用に影響が生じます。

- ・ 3 月 24 日 (月) 13 時頃～18 時頃 (地震計全地点、津波計全地点)
- ・ 3 月 25 日 (火) 08 時半頃～18 時頃 (地震計 5、津波計 3)
- ・ 3 月 26 日 (水) 09 時頃～18 時頃 (地震計 1 及び 5、津波計 1 及び 3)

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの計画作業に伴う 緊急地震速報への影響について

当該海域には、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの観測点が設置されており、この観測データを緊急地震速報の発表に利活用しています。



気象庁の観測点：●は緊急地震速報に活用する観測点、○は緊急地震速報への活用を停止する観測点を表す。

▼は国立研究開発法人防災科学技術研究所が運用管理している地震・津波観測監視システム（DONET）観測点を表す。

図中に赤で示した等値線は、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの観測データ（上図：○）について緊急地震速報への活用を停止した場合、地震の発生場所によって緊急地震速報の発表が通常よりどの程度遅れるかを秒数で表したものです。上図は地震計全地点の観測データについて緊急地震速報への活用を停止する3月24日の場合を示しています。

なお、3月25日及び3月26日の計画作業に伴う緊急地震速報の遅れは最大3秒程度です。